





知識の共有化と意識向上に期待

寄稿

広島県知事 湯崎 英彦



第60回全国建設業労働災害防止大会が、全国から多くの皆様の御参加のもと、ここ広島県で、盛大に開催されますことをお慶び申し上げますとともに、皆様のお越しを心より歓迎申し上げます。

建設業労働災害防止協会におかれましては、長年にわたり、建設業における労働災害の防止に向けた活動を積極的に推進され、建設業の労働安全衛生水準の向上に寄与されてこられました。皆様の御尽力に対しまして、深く敬意と感謝の意を表します。

また、本日、労働災害の防止に貢献されました御功績により、栄えある表彰・顕彰を受けられます皆様、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。あわせて、今年5月の「G7広島サミット」につきましては、開催にあたり多大な御協力をいただき、心から感謝申し上げます。被爆地での開催は今回が初めてであり、原子爆弾による破壊から復興した広島に各国の首脳が集い、対話を重ねたことは、世界に向けた力強い平和のメッセージの発信となりました。

さて、本県では「将来にわたって、『広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった』と心から思える広島の実現」を基本理念とした、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」に基づき、社会情勢の変化による新たな課題に対応した効果的かつ効率的なインフラマネジメントの推進に取り組んでいるところであり、建設業の皆様との御協力は欠かせないものと考えております。

このような中、全国の建設業関係者の皆様が一堂に会し、労働安全衛生に係る知識の共有化と意識の向上に取り組まれますことは、大変に意義深く、心強い限りでございます。本大会が成功裡に終了され、その成果が十二分に発揮されますことを御期待申し上げます。

終わりに、建設業労働災害防止協会の一層の御発展と、御参会の皆様のご今後の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

寄稿

職場環境整備でさらなる業界発展へ

建設業労働災害防止協会広島県支部

支部長 檜山 典英



この度、第60回全国建設業労働災害防止大会を12年ぶりに広島で開催することができ、誠に光栄に存じます。全国各地からご参加いただいた皆様を心から歓迎申し上げます。

アフターコロナの時代に入り、私共建設業がこれからも社会的使命を果たし、健全に発展していくためにも、安全と健康を確保した職場環境の整備が不可欠です。この度の全国大会を通じ、皆様の一層の安全衛生水準の向上に繋がっていくことを祈念いたします。

簡単に、地元のご紹介をいたします。78年前、原爆により灰燼に帰した広島市の街も、美しい国際平和都市へと復興しました。折角の機会ですので、今年5月のG7サミットで各国首脳が訪問した原爆ドームや厳島神社など訪れていただき、併せて、お好み焼きやレモン、日本酒などの食や文化にも触れていただければと思います。

結びにあたりまして、この大会が参加される皆様にとって、実りある大会になることを祈念いたします。2日間、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



建設現場の安全の確保と 将来の担い手確保を

建災防の長年にわたる 労働災害防止活動に敬意

第60回全国建設業労働災害防止大会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本大会の開催各位におかれましては、平素より国土交通行政の推進に格別の理解と協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本大会では、建設業における安全衛生水準の向上を図るため、毎年、全国の建設業の安全衛生担当者が一堂に会し、労働災害防止活動に顕著な功績・功績のあった安全功労者等の表彰、最新の安全衛生管理活動の発表等が行われるものと聞いております。まずは、今回表彰を受けられた皆様方に心よりお祝い申し上げます。

また、本大会の主催者である建設業労働災害防止協会は「人命尊重」という基本理念の下、建設業における労働災害の防止に向け、日々、安全衛生水準を高めるための活動に積極的に取り組んでおられます。その長年の御尽力に対して、深く敬意を表します。建設業は、「社会資本整備の担い手」として、重要な役割を果たしてきています。特に、自然災害が激甚化・頻発化している近年においては、災害復旧や被災者への支援活動等において昼夜を分かたず最前線に立ち、建設現場が増え、これに伴い、国民の安全・安心の確保を担う建設業に寄せられる期待も、ますます高まっています。建設業が、今後も「つた役割を果たし続けていくためには、第一に、現場の安全をしっかりと確保し、日々、安心して働ける環境を築いていくことが重要です。」

建設業における労働災害を防止するためには、関係各位及び建設業労働災害防止協会の皆様のお力添えが不可欠です。今年度は、建設業労働災害防止協会で策定された「第9次建設業労働災害防止5か年計画」の初年度となります。今後、同計画に基づき、より一層積極的かつ確実に取組を推進させていただきます。また、建設業の「担い手」の確保を図りながら、現場で頑張っておられる皆様がいよいよ誇りを持って

職場にいらしていただくには、次世代を担う若者から選ばれる魅力的な産業としていくことも重要です。例えば、公共工事設計労働単価は、11年連続の上昇となり、特に本年は物価上昇を上回る大幅な引上げとなりました。国土交通省としても、この引上げが技能者の賃上げに結び付くよう、引き続き「処遇改善」のための施策の充実・強化に取り組んでまいります。また、適正工期による契約の確保や施工時期の平準化に向けた取組の推進、ICT等を活用したiConstructionや「生産性DX等」(働き方改革)や「生産性向上」の取組も推進してまいります。結び、本大会の成功と、関係各位がご自身の御発展と御活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

Table listing various construction associations and companies, including JSCA, JSCA branches, and various construction firms like JDA, JSCA, etc.



建災防全国大会

全国仮設安全事業協同組合

12月に建設社会待望の「建設職人基本法」が成立、そして17年6月には基本計画が策定、閣議決定された。この間、墜落・転落災害による死亡者数は高止まりを続け、目立った政策も打たれていません。基本計画の見直し時期が迫った昨年から事態は動き出した。

見直しにあたっては、足場の「より安全な措置」等(下図)のうち、①手すり先行足場の設置の十分な知識経験のある者による、足場種別ごとのチェックリストに基づく足場安全点検を実施・義務付けされ、この間足場に起因する墜落・転落死者数はほぼ皆無という顕著な実績を残しています。公共工事と民間工事との「官民格差」の解消を図っていくことが職人の命を守る決めの一手です。

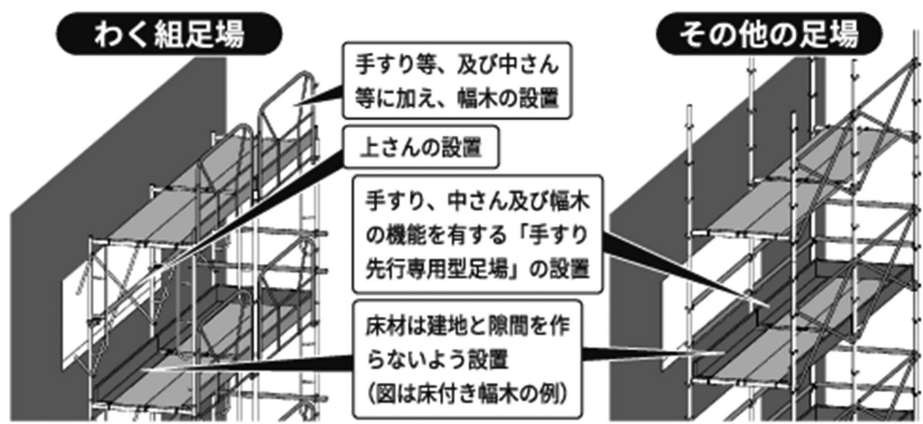
さらに、これを担保するための②足場費を含む安全衛生経費の未端下請までの確実な支払に取組みすることも重要で



作業環境改善に向け引き続き国に要請

足場からの墜落災害を防止するため、以下の「より安全な措置」を講じましょう。

出典：厚生労働省「足場を設置する際は、「より安全な措置」等に取り組みましょう」



す。これらについて、当組合として政府に強く要望してまいりました。また、足場費を含む安全衛生経費について、元間で確認書を取り交わして進めることと国土交通省の検討会で決まり、まもなく「足場」の確認書が国交省においてオンライン化されるよう引き続き国会と政府に強く求めています。この運動に引き続き、足場に係る労働安全衛生規則も8年ぶりに改正にご支援をお願いします。

れ、今年10月から足場の安全点検の規制が強化されます。これはまた改善策の一步に過ぎません。私たちは建設工事従事者の皆さまが安心して作業に取り組みめる環境を実現できるように引き続き国会と政府に強く求めています。この運動に引き続き、足場に係る労働安全衛生規則も8年ぶりに改正にご支援をお願いします。

重松製作所

より安全に、より快適に 電動ファン付き呼吸用保護具「呼吸連動形シンクロ」

重松製作所は、大正6(1917)年の創業以来、防じんマスク、防毒マスクや電動ファン付き呼吸用保護具(以下、PAPR)などの呼吸用保護具の製造・販売を行っています。

PAPRは、事業場その他で空気中に浮遊する粒子状物質(粉じん・ヒューム・ミストなど)、有毒なガス若しくは蒸気またはこれらと混在する粒子状物質を、フィルタ又は吸収缶で除去した後、その清浄空気を電動ファンによって、着用者の面体等へ送る構造です。

2023年10月1日から、これまでの防じん用のものに加えて、「防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具(以下、G-PAPR)」が型式検定の対象になり、同社でもG-PAPR型式検定の申請を進めています。

することで繰り返し使用できます。

また、スイッチレスで、マスクを装着してひと呼吸すると送風を開始し、マスクを外して約5秒後に自動的に送風が停止します。スイッチがないため、防じん・防毒マスクと同様に装着するだけで作業ができます。

電動ファン、バッテリー、フィルタが一体となっているため、コードを引っかけて断線する心配もありません。フィルタの交換時期・バッテリー残量が一目でわかるLED表示や、マスクを装着した状態で明瞭な会話ができる伝声器付きで、さらに安全性を高めます。



「呼吸連動形PAPRシンクロ」は自身の呼吸に合わせて清浄な空気が供給されるため、呼吸が楽にできるマスクです。

マスク内圧を陽圧(正圧)に保持することで、顔面と面体との間に隙間(ズレ)が生じて粉じんを吸入するリスクを大幅に低減できるため安全性が高いです。

さらに、一定流量形PAPRや防じんマスクよりもフィルタが長持ちするため経済的です。溶接ヒュームを捕集したフィルタ「X2・5」「T2・5」「G2・5」「X2」「T2」「G2」は、エコマーク認定を取得した「水洗再生リターナブルシステム」を利用して水洗い

谷沢製作所

軽さ。コンパクトさ。涼しさ。劇的進化 新型ヘルメット「123グループ」

谷沢製作所は2014年7月、従来の発泡スチロール製衝撃吸収ライナーに替えて、六角柱の衝撃吸収体をもつ内装体「エアライト」を開発し、それを使ったヘルメットを発売しました。「エアライト」は安全性と快適性を向上させ、ヘルメットは大きく進化しました。

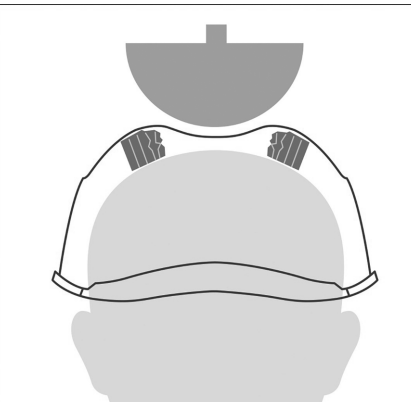
それから6年、2020年12月に新衝撃吸収メカニズムを採用した内装体「エアライトS」を新たに開発し、ヘルメットはさらなる進化を遂げました。

「エアライトS」は、従来のヘルメットの常識を覆すコンパクトさと軽さを実現しました。この内装体を搭載したP-C製の最新型「ST#123-JZV」と同材質の当社の人気ヘルメット「ST#161-JZV」を比べると、それが際立ちます。また、シールド面付きの「ST#123VJ-SH」は430g。シールド面なしの「ST#161-JZV」と同じ重さです。

の間で帽体がゆがむことにより吸収されます。この衝撃吸収メカニズムの変更により頭部と帽体の隙間は、「ST#161-JZV」では45mmだったのに対して「ST#123-JZV」では32mmとなり、帽体のコンパクトさと軽さに結び付けました。

「ST#123-JZV」の発売から順次ラインアップを増やし、シールド面付き、シールド面付き、ABS製、軽量FRP製など計10型式を展開中です。

新型ヘルメット「123グループ」をぜひ手に取ってお確かめください。ヘルメットの劇的進化をすぐに実感していただければと思います。



ハンモックに一体成形された「サポートブロック」の間で帽体がゆがみ、飛来落下物の衝撃を吸収

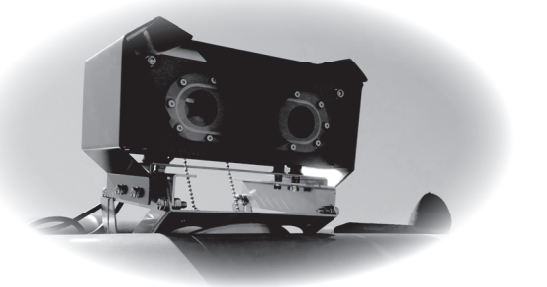
|            | 製品高さ   | 製品質量 |
|------------|--------|------|
| ST#161-JZV | 152 mm | 430g |
| ST#123-JZV | 133 mm | 365g |

この進化を生んだのは「エアライトS」の頂部に設けたハニカム構造の「サポートブロック」です。従来のヘルメットでは、頂部に衝撃を受けると、初めに内装体のハンモックが伸び、次に帽体が大きくゆがんで(FRP製の場合は帽体が割れて)エネルギーを吸収します。それに対して、「エアライトS」では「サポートブロック」が帽体を支え、ハンモックはほとんど伸びません。衝撃エネルギーは主に二つの「サポートブロック」

つくし工房

パワーマド エフ

人体検知 複眼AIカメラシステム  
~ふたつの眼と人工知能で 人体をすばやく検知~



対人に特化した、AI・複眼カメラ搭載の重機接触防止装置

弊社はこれまで重機接触防止装置として、超音波センサーや全周囲カメラ等といった装置を提案してきました。それらは事故防止に対して非常に有効である一方で、対人特化した物ではありませんでした。そこで今回弊社は、対人に特化した装置を考案しました。それが「人体検知・複眼AIカメラシステム パワーマド」です。二つのカメラ(右左の写真を参照)が捉えた映像をAIが解析することで、人とそれ以外の距離を算出します。それらの結果を三段階のブザー音と四段階のモニター表示で重機のオペレーターに注意を促します。警告内容は右の表を参照。また、複数人をカメラが同時に捉えた場合、近い人を優先検知してブザー音が鳴動します。さらに体の正面だけでなく、横向きや後ろ向き、体の一部が隠れている状態でも検知が可能です。(人の特徴が捉えられない場合、画面上に映っても検知しない可能性があります) 特に障害物があっても人だけに注意を喚起する製品です。重機による人身事故撲滅に向け、本製品をぜひご活用ください。



| 検知距離    | モニター表示 | ブザー音            |
|---------|--------|-----------------|
| 1.5m以下  | 赤 枠    | 連続鳴動 (ピーーーー)    |
| 1.5m~3m | 黄 枠    | 短い断続鳴動 (ピーーピーー) |
| 3m~6m   | 青 枠    | 長い断続鳴動 (ピーーピーー) |
| 6m以上    | 緑 枠    | 警報なし            |

足場の安全点検は 仮設安全監理者におまかせ

足場安全点検のプロフェッショナル

足場の安全点検(組立、解体時等)は労働安全衛生規則(省令)に基づき、事業者と注文者(元請事業主等)双方に義務づけられています。仮設安全監理者による足場安全点検は、足場の種類・機材別90種類以上のチェックリストに基づき、当該足場を組み立てた者以外の第三者の目線で細部にわたって点検を行い、足場に起因する事故を防止します。

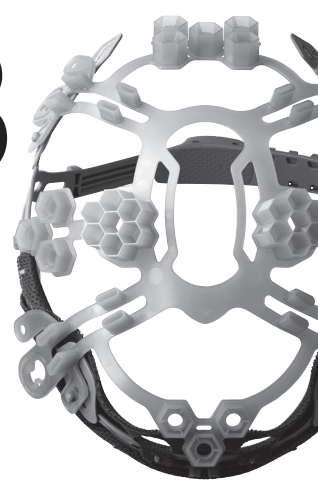


全国仮設安全事業協同組合 03-3639-0641  
www.kasetsuanzen.or.jp



Evo.123 軽さ。コンパクトさ。涼しさ。劇的進化

シールド面付き、通気孔付き 追加ラインアップ!!



新内装「エアライトS」 サポートブロックメカニズム搭載

詳しい製品情報は 当社HP特設サイトへ

株式会社 谷沢製作所 〒104-0041 東京都中央区新富2-15-5 RBM雑地ビル6F  
TEL: 03-3552-5581 FAX: 03-3552-5576 E-mail: eigo@tanizawa.co.jp www.tanizawa.co.jp

より安全に、より快適に。

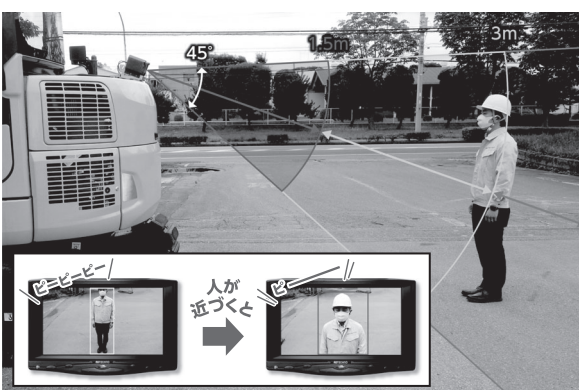


株式会社 重松製作所 SHIGEMATSU WORKS CO., LTD. www.sts-japan.com

本社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1 TEL 03(6903)7525(代表)

人体検知 複眼 AI カメラシステム

パワーマド エフ



作業中の重機後端部の死角を モニター表示とブザー音でサポート

株式会社 つくし工房 TEL. 03-3977-3333 FAX. 0800-888-9333 http://www.tukusi.co.jp/